

# 一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 6 月 2 日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 6 番 井上 佳郎

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が2以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・質問番号1の用紙にだけご記入ください。
- ・質問が一つだけの場合は必然的に1となりますので、記入は不要です。

初問は { 1. 全項目一括質問一括答弁  
2. 項目ごとに入括質問一括答弁

(質問番号 1)	消防団を中核とした高島市の防災力の充実強化について
発 言 事 項	
要 旨	(項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。)
	<p>平成25年に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が制定されてから、13年を迎えました。同法は、第1条において、災害の激甚化・頻発化や人口減少・少子高齢化の進展といった厳しい社会経済情勢に対応していくべく、住民の積極的な参加の下に、消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図ることにより、住民の安全を確保するとの命題を謳っています。その上で、消防団を将来にわたって欠くことのできない存在と位置づけ、その抜本的な強化を図るため、処遇や装備の改善などを含め、必要な措置を講ずることを求めています。また、地域における防災体制の強化に向けては、住民の防災意識の向上や自主防災組織の活性化が必要であるとし、あらゆる主体が適切な役割分担の下で相互に連携協力する体制の構築を求めているところです。</p> <p>又、高島市地域防災計画に於いても、消防力の整備指針および消防水利の基準に基づき年次計画を立て、職員、資機材、消防水利等の整備拡充を図る。また、地域の消防防災に中核的な役割を果たす消防団の活性化に努める。最近における火災の複雑化、多様化および大規模化に対処するため、さらなる消防力の強化に努</p>

める事になっています。

更に災害発生時には高島市災害対策本部の非常参集職員として、職員参集基準に基づき自主的に参集することになっており、災害時において消防団員の役割は重要と考えます

しかしながら、高島市に限らず全国的に消防団員は減少傾向にあります。全体として減少が続く中であって、女性団員・学生団員・機能別団員が増加しています。女性団員の活躍は、消防団が時代に応じた組織環境づくりを進めていく上でも、大きな意義を持つものと考えられています。また、志を持った学生団員の入団は、消防団の将来にとって非常に心強いものです。

更に近年、直接的に消防団員数の確保に最も貢献しているのが、機能別団員・分団制度です。これは、すべての消防団活動に参加する基本団員を補完する制度として、平成17年1月に全国市町村に導入を呼びかけたものであり、市町村が定めるところにより、入団時に決めた特定の活動・役割に絞って消防団に入団できるものです。これにより、従来であれば消防団に加入しなかったであろう幅広い層からの入団が期待できます。具体的な機能は市町村において自由に設定可能ですが、導入実例として多いのは、大規模災害時のみ活動する、広報・啓発のみ活動するといった機能別団員・分団です。近年では、消防団の活動の幅を広げる、バイク隊やドローン隊などの新しい形態も目にとまります。人口減少下において消防団の機能を確保していくため、機能別団員・分団制度のウエイトは今後も高まっていくと考えられます。

この様な現状のもとに以下の通り問います。

1. 現在の消防団員数の推移と、その減少要因についてどのように認識されているか伺います。また、減少に伴う地域防災力への影響についてもご見解をお聞かせください。
2. 「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」をふまえて、高島市の防災体制の中で、高島市消防団の役割や位置付けはどのようにされているのか、ご説明ください。
3. 機能別消防団員の編成に向けて、どのような基準や方針を持ち、どのような取り組みを進めているのか、また、今後の計画についてお伺いします。